

# セゾン・バンガード・ グローバルバランスファンド

追加型投信/内外/資産複合

## 交付運用報告書

第15期（決算日 2021年12月10日）

（作成対象期間 2020年12月11日～2021年12月10日）

第15期末(2021年12月10日)	
基準価額	19,206円
純資産総額	294,071百万円
第15期	
騰落率	15.3%
分配金(税込)合計	-円

- ・騰落率は、小数点以下第1位未満を四捨五入しております。
- ・純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧・ダウンロードいただけます。

<閲覧方法>

右記URLにアクセス⇒「ファンド・プランのご紹介」⇒「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」⇒「運用状況・レポート」⇒「レポート・動画レポート」

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### 受益者の皆さまへ

平素は「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

この度、第15期決算を行いましたので、当期の運用状況をご報告いたします。

当ファンドは、米国バンガード社が設定したインデックス型の外国投資証券への投資を通じて、世界各国の株式および債券に実質的に分散投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。当期間も変わらず、この方針に基づき運用を行って参りましたことを合わせてご報告申し上げます。

今後も、皆さまの長期資産形成のお役に立てるよう、引き続き努めて参りますので、より一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



## セゾン投信

### ■お問い合わせ先

セゾン投信株式会社 お客様窓口  
〒170-6048 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 48F  
【ホームページ】 <https://www.saison-am.co.jp>  
【電話番号】 03-3988-8668  
【営業時間】 9：00～17：00（土日祝日、年末年始を除く）

## ごあいさつ

当ファンドの第15期は、前期に引き続き通期に亘り世界的なコロナ感染の終息が見通せぬままでしたが、既に2年にも及ぶコロナ禍は人々の生活意識を大きく変化させ、日常の暮らしから働き方に至るまで劇的な価値観の転換をもたらすと共に、そこへの新たな需要に応えるビジネスが続々と誕生して、更には行動制約を克服するITテクノロジーが加速度的に発展するなど、ニューノーマルと呼ばれる社会通念の刷新が進みました。

言わばコロナ慣れが社会に定着しつつある中で、世界的にウィズコロナが一般化して経済需要は前年の落ち込みを取り戻す回復を見せ、金融市場は早期にコロナ後の経済活動常態化を織り込みながら、大型ハイテク企業群の強固な成長期待に先導された米国株式市場が牽引するように、先進主要国の株価は期中に総じて右肩上がりに推移しました。

実体経済の回復力が先進国で最も早く、且つ力強かった米国では、年央以降想定を超えてインフレが高進しました。コロナ禍での主要国ごとの金融緩和と政策でマネーはだぶつき、投機的な資金が資源や素材などの価格を押し上げていましたが、アフターコロナを見据えた世界的な実需回復が更なる産業活動の川上価格の高騰に連鎖して、生活者の活動が本格的に再開されるに伴って個人消費需要が旺盛になった米国では、顕著に消費者物価の上昇基調へと繋がったわけです。それは供給サイドが産業活動上被る輸入物価やエネルギー価格などの上昇によるコスト増を、最終価格に転嫁出来ていることの証左で、米国の企業業績は今のところインフレ率が高止まりしている状況下でも、順調な利益成長に至る好循環に裏付けられて、米国株式市場の高値水準がマーケットで正当化されて来ましたが、此の先はインフレの長期化観測によって、米国内での金融政策転換、即ち金利引き上げのタイミングと水準動向如何で、金融市場の値動きは上下に大きく振れ易くなるでしょう。

さて、当ファンドはグローバルに株式と債券を半々で併せ持つ正統派のバランス型ポートフォリオですが、先進国を中心に株式市場が上昇したほか、当期を通じて先進主要国の量的金融緩和が継続したことから、高いインフレ率に対し抑制的反応だった米国債券市場に加え日欧の債券も底堅く推移しました。

さらに為替が円安基調となったことで、当ファンドの第15期はこれまでの巡航速度より高いペースの運用成果につながり、当期末純資産残高は期初から638億円増加して2,940億円と、我が国有数のグローバルバランス型長期投資ファンドたるスケールに育ってまいりました。長距離列車「セゾン号」乗客の皆さまには、長期投資の旅を続けていただいていることに、乗務員一同感謝申し上げますと共に、第15期の運用状況を報告させていただきます。

代表取締役会長CEO 中野 晴啓

## ◎受賞実績



「R&Iファンド大賞2021」  
最優秀ファンド賞を受賞しました。

格付投資情報センター (R&I) の選定する「R&Iファンド大賞2021」において「iDeCo・DC/バランス型(標準)」部門で「最優秀ファンド賞」を受賞しました。



「R&Iファンド大賞2021」  
優秀ファンド賞を受賞しました。

格付投資情報センター (R&I) の選定する「R&Iファンド大賞2021」において「投資信託/バランス型(標準)」部門で「優秀ファンド賞」を受賞しました。

## 運用担当者の紹介

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンドは、ファンド・オブ・ファンズの仕組みを活用して、世界の優れたリソースを活用しながら、日本の生活者の方の長期の資産形成に資することができるよう、不確実な市場の予想に頼ることなく、長期的なリターンと幅広い分散によるリスクの軽減を重視して、チームで運用を行っています。

代表取締役会長CEO、CIO(チーフインベストメントオフィサー)

### 中野 晴啓

#### 主な役割

運用の基本的な方向性の指示

運用経験年数 31年

#### 経歴

1987年	明治大学商学部卒業
1987年	株式会社クレディセゾン入社。セゾングループの金融子会社にて債券ポートフォリオを中心に資金運用業務に従事した後、投資顧問事業を立ち上げ運用責任者としてグループ資金の運用のほか外国籍投資信託をはじめとした海外契約資産等の運用アドバイスを手がける。その後、2006年セゾン投信を設立。2007年4月から代表取締役社長(CEO)。2020年6月より現職。



マルチマネージャー運用部長、ポートフォリオマネージャー

### 瀬下 哲雄

#### 主な役割

投資戦略の策定、具体的な投資方針の策定

運用経験年数 15年

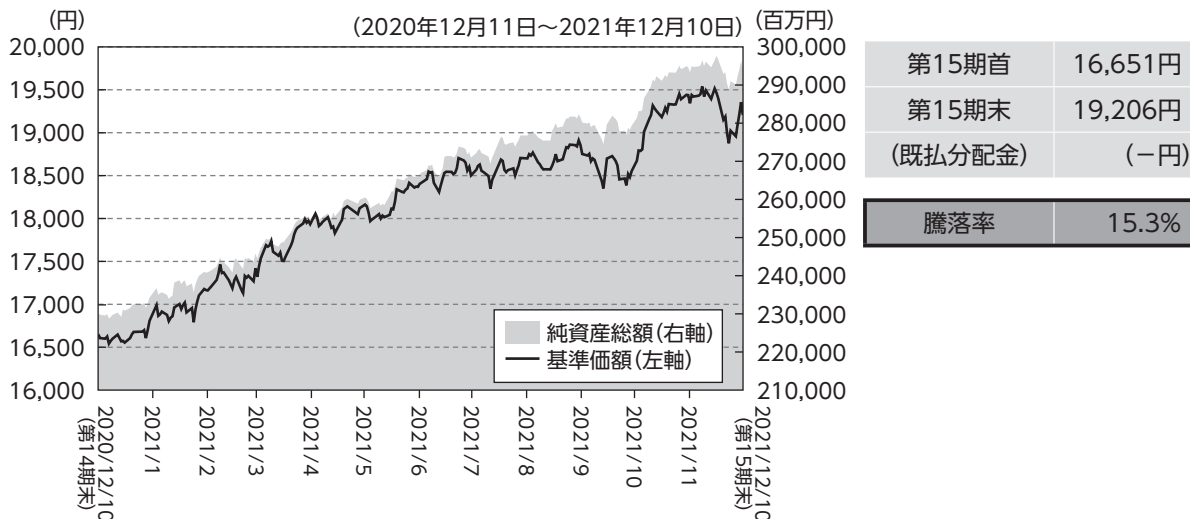
#### 経歴

1996年	上智大学経済学部経営学科卒業
2006年	セゾン投信入社、2007年3月のファンド設定時より運用を担当し、2011年よりポートフォリオマネージャー、2014年から運用部長、2021年から現職。



## 運用経過の説明

## 期中の基準価額等の推移



- ・当ファンドには、ベンチマークはありません。
- ・分配を行っていないため、分配金再投資基準価額は表示しておりません。
- ・表示されている基準価額が、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものとなります。
- ・上記騰落率は、小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しております。



## ここをCHECK!

## 【基準価額の主な変動要因】

当期は、債券に投資するファンドが全て下落したものの、株式に投資するファンドが全て上昇し、投資先ファンドが基準価額の上昇要因となりました。為替は対ドル、対ユーロで円安となり、基準価額の上昇要因となりました。

## &lt; 基準価額のプラス要因 &gt;

米国株式に投資するファンド (米ドル) ※
対ドルでの為替レート (円安)
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド (ユーロ)
バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド (円)
対ユーロでの為替レート (円安)
バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド (米ドル)
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド (米ドル)

期中騰落率  
15.3%

バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド (円)
バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド (ユーロ)
バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド (米ドル)

## &lt; 基準価額のマイナス要因 &gt;

※2021年3月12日までは、バンガード・インスティテューショナル・インデックス・ファンド、2021年3月15日からは、バンガード・500・インデックス・ファンドに投資

## 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2020年12月11日~2021年12月10日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社)  (受託会社)	92円 (50) (35)  (7)	0.506% (0.277) (0.192)  (0.036)	(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 ・委託した資金の運用の対価 ・交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用  (監査費用)  (その他)	0  (0)  (0)	0.001  (0.000)  (0.000)	(b) その他費用= $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・その他は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・移転等に要する費用
合 計	92	0.507	
期中の平均基準価額は18,160円です。			

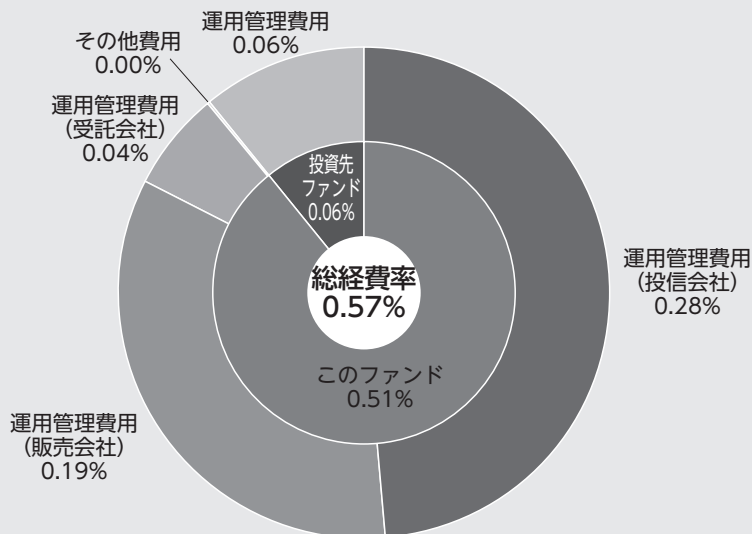
- ・期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
- ・財産維持手数料は当期は発生しておりません。
- ・各金額は各項目ごとに円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

**ここをCHECK!**

&lt;参考情報&gt;

**総経費率**

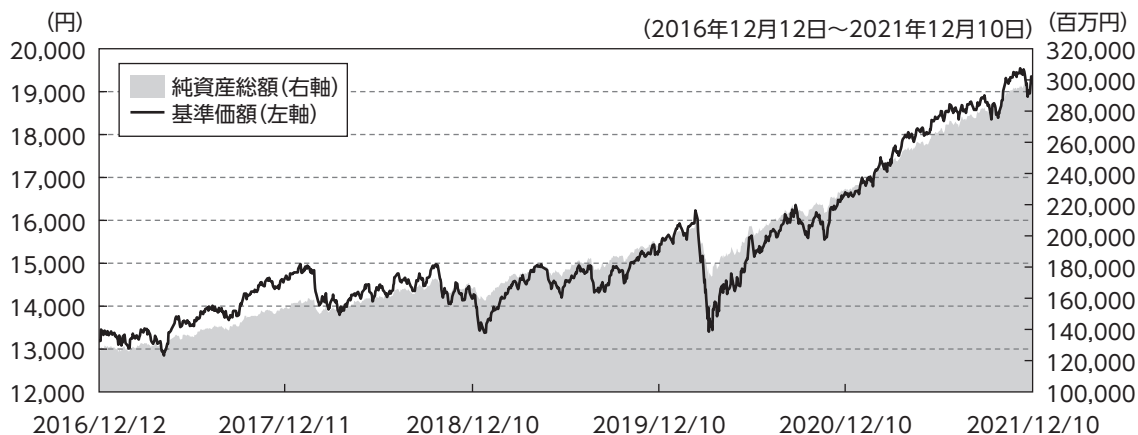
当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は0.57%です。



総経費率(①+②)	0.57%
①このファンドの費用の比率	0.51%
②投資先ファンドの経費率(運用管理費用以外の費用を含む)	0.06%

- ・①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- ・②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費率を乗じて算出した概算値です。
- ・各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- ・各比率は、年率換算した値です。小数点以下第2位未満を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
- ・①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- ・上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



	2016年12月12日 決算日	2017年12月11日 決算日	2018年12月10日 決算日	2019年12月10日 決算日	2020年12月10日 決算日	2021年12月10日 決算日
基準価額 (円)	13,181	14,667	14,200	15,268	16,651	19,206
期間分配金合計(税込) (円)	-	-	-	-	-	-
基準価額の騰落率 (%)	△1.7	11.3	△3.2	7.5	9.1	15.3
参考指数の騰落率 (%)	0.4	11.4	△2.6	8.3	8.7	16.8
純資産総額 (百万円)	126,394	153,979	166,494	194,260	230,238	294,071

- ・当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(配当込)とブルームバーグ・グローバル国債：G7インデックスを50%ずつ組み合わせた、委託会社が計算した合成指数を参考指数として記載しております。
- ・参考指数は、基準価額の反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用して円換算しております。
- ・上記騰落率は、小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しております。
- ・純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。



## ここをCHECK!

&lt;参考情報&gt;

当期末(2021年12月10日)と5年前(2016年12月12日)の比較は以下のとおりです。

基準価額の騰落率(5年)	45.7%
参考指数の騰落率(5年)	49.1%
純資産額の増加額(5年)	167,676百万円

・騰落率は年率換算していません。

## 投資環境

### 【株式市場の概況】

株式市場は、先進国を中心に上昇しました。

当初は、新型コロナウイルスワクチン接種の進展への期待が高まったことを背景に上昇しました。4月以降は、新型コロナウイルスの感染状況が、一進一退となるなかで、先進国はワクチン接種がおおむね順調に進展したことを受けて、経済活動の正常化への期待が高まって引き続き上昇しましたが、新興国は、多くの国でワクチン接種が遅れたことや中国で先行きへの不透明感が高まったことを背景に、一部の国を除いて力強さを欠く動きとなりました。

米国は、ワクチン接種が早期に進み、経済活動が活発化したことを受けて上昇し、その後は物価が上昇して金融緩和の早期縮小観測が強まるなかでも堅調に推移しました。欧州は、当初はイギリスを除いてワクチン接種が遅れたものの、ワクチン接種が進むにつれて経済活動が活発化して上昇しました。日本は、当初ワクチン接種が遅れ、その後ワクチン接種が進んでからも経済活動の回復が鈍く、やや力強さを欠く動きとなりました。新興国市場は、中国が新型コロナウイルスの感染拡大を抑制するための強い措置が続いた影響で経済活動が低迷するなかで政府の企業に対する規制強化への懸念が高まったことを受けて力強さを欠く推移となった一方で、半導体需要の拡大の恩恵を受けた台湾や新型コロナウイルスの感染減少により経済活動が回復したインドが上昇したほか、原油価格の上昇を受けてサウジアラビアやロシアなどが上昇しました。

### 【国債市場の概況】

国債市場は、米国とユーロ圏が下落し、日本が小幅に下落しました。

当初は、新型コロナウイルスの感染拡大により落ち込んだ経済を立て直すために財政支出が拡大し、国債の発行額が増加するとの見方が強まったことや、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展により経済活動の早期回復への期待が高まったことを受けて米国やユーロ圏の国債を中心に下落しましたが、5月以降は、新型コロナウイルスの変異株の感染が拡大したことを受けて、経済活動の早期回復への期待が後退して、金融緩和の長期化観測が広がり上昇しました。

9月以降は、経済活動が活発化するなかで、労働力の不足などにより供給が滞った影響で、物価の上昇が確認されて下落しましたが、米連邦準備制度理事会(FRB)や欧州中央銀行(ECB)が物価上昇は一時的との認識を示して、金融緩和策を長期間維持する姿勢を維持したことから底堅く推移し、その後は米国で金融緩和の早期縮小観測が強まったものの、景気の先行きに対する不透明感を背景に堅調な展開が継続しました。

### 【為替市場の概況】

ドルが上昇し、ユーロと円が下落しました。円はユーロに対しても下落し、対ドル、対ユーロで円安となりました。

ドルは、米国でワクチン接種が進展したことを受けて経済活動が比較的早期に回復したほか、需要が高まるなかで供給が滞って物価が上昇したことにより、金融緩和の早期縮小観測や政策金利の早期引き上げ観測が強まったことを受けて上昇しました。

ユーロは、ユーロ圏でワクチン接種の遅れにより経済活動の回復が米国よりも遅れたほか、物価が上昇したものの金融緩和の縮小を開始する時期が米国よりも遅くなると見られることから、力強さを欠く動きとなりました。

円は、日本の経済活動の回復が米国や欧州よりも遅れるなかで、米国やユーロ圏で金融緩和の縮小観測が強まる一方で、日本では金融緩和策が長期間継続するとの見方が維持されて下落しました。



## 当ファンドの運用経過と結果

当期も、引き続き積立などのご購入により受益者の皆さまからお預かりした資金を利用して定められた投資比率に従って各ファンドへの投資を行い、株式と債券の比率が目標から乖離した局面では、比率が上昇したファンドを売却し、比率が低下したファンドを購入することにより、リバランスを行いました。今期は株式市場が上昇基調となったことを受けて、購入は主に債券ファンドを対象に行ったほか、リバランスは株式ファンドの売却と債券ファンドの購入によるものだけを行う結果となり、株式ファンドの購入から売却を差し引いた純投資額はマイナスでした。なお、資産配分比率に大きな変動はありません。

また、3月にバンガードグループの拠点再編方針を受けて、事務継続性の検証を行った結果、米国株式に投資する外国投信(バンガード・インスティテューショナル・インデックス・ファンド)を、同じ指数に連動するバンガード社のETF(バンガード・500・インデックス・ファンド)へ移管しました。

### ここをCHECK!

<参考情報>

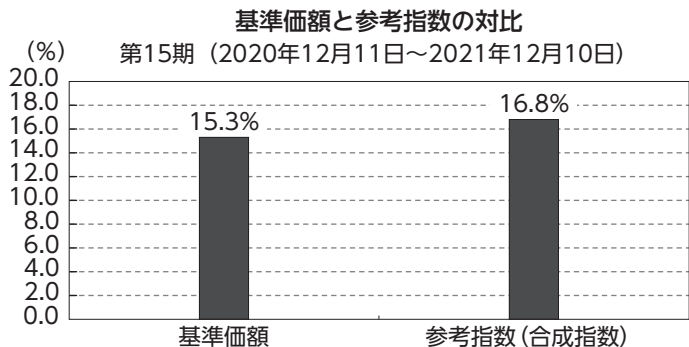
期中の売買及び取引の状況 (2020年12月11日から2021年12月10日)

投資証券		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
アメリカ	バンガード・インスティテューショナル・インデックス・ファンド	千口 28	千米ドル 9,426	千口 74	千米ドル 25,500
	バンガード・500・インデックス・ファンド	31	12,889	54	22,080
外	バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	千口 -	千円 -	千口 28	千円 500,000
	バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	210	2,290,000	-	-
国	バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	千口 0	千米ドル 100	千口 8	千米ドル 1,200
	バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	73	11,000	30	4,900
	バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	1,095	134,600	-	-
	バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	千口 4	千ユーロ 800	千口 35	千ユーロ 5,800
	バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	730	94,300	-	-

- ・金額は受渡し代金です。
- ・千単位未満を切り捨てて表示しております。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の当期の騰落率の対比です。



- 当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオールカントリー・ワールド・インデックス (配当込) とブルームバーグ・グローバル国債：G7インデックスを50%ずつ組み合わせた、委託会社が計算した合成指数を参考指数として記載しております。
- 参考指数は、基準価額への反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用して円換算しております。

## 分配金

基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきます。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第15期
	2020年12月11日～2021年12月10日
当期分配金	-
(対基準価額比率)	-
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	10,605

- 対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針

---

定められた投資比率に従い各ファンドへの投資を行います。原則として積立などでのご購入により受益者の皆さまからお預かりした資金を利用して、目標とする投資比率に沿うように各ファンドへの投資を行い、目標とする比率から一定の乖離が生じた場合はファンドの売却と購入による比率の調整を行います。

マルチマネージャー運用部長 瀬下 哲雄

## お知らせ

---

### 当期中の約款変更について

2020年12月11日から2021年12月10日までの期間に実施した約款変更は以下のとおりです。

- 2021年3月11日付  
投資対象ファンドの変更に伴い、投資信託約款にて別に定める「運用の基本方針」に所要の変更を行いました。
- 2021年9月11日付  
投資対象ファンドの変更に伴い、投資信託約款にて別に定める「運用の基本方針」に所要の変更を行いました。

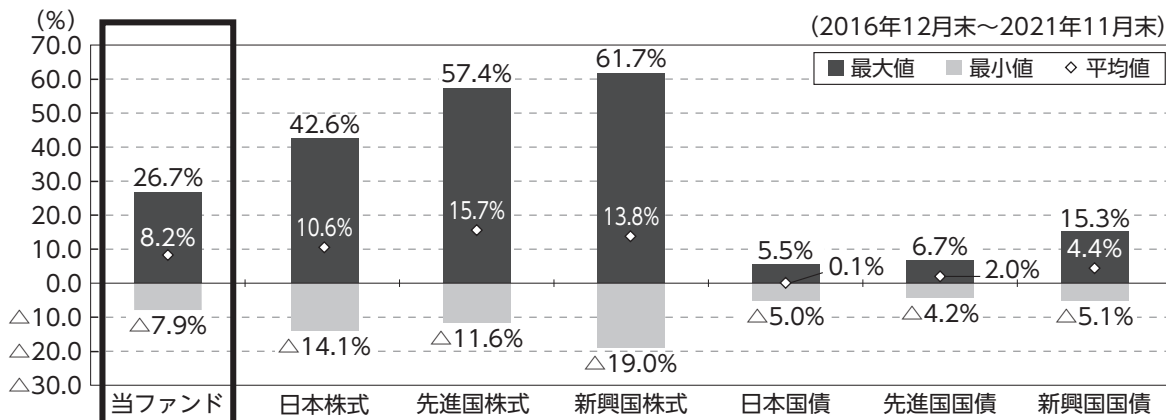
### 名称変更予定について

当ファンドは、2022年9月10日「セゾン・グローバルバランスファンド」に名称の変更を予定しております。本件は、バンガードの日本ビジネスからの撤退により、商標の継続利用が困難になることによるものです。なお当該変更に関して、当ファンドの運用の基本方針、運用体制等につきましては、一切変更はございませんのでご安心ください。

## 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	<p>信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、主として米国バンガード社が運用するインデックスファンドの中から資産規模、運用実績、コストなどの面から厳選したファンドに分散投資します。具体的な資産配分は運用状況ならびに市場状況に応じて随時変更(増減ならびに入替など)します。</p> <p>原則として、為替ヘッジは行いません。</p>
主 要 投 資 対 象	有価証券に投資する外国投資証券を投資対象とします。
運 用 方 法	<p>当ファンドの運用は、ファンド・オブ・ファンズ方式とし、米国バンガード社が設定したインデックス型の外国投資証券への投資を通じて、世界各国の株式および債券に実質的に分散投資します。</p> <p>株式と債券の基本資産配分比率は、原則として株式50%、債券50%とします。</p> <p>株式、債券の地域別配分比率は、それぞれの市場時価総額(規模)を勘案して行います。</p>
分 配 方 針	<p>毎決算時に、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象が少額の場合には分配を行わないこともあります。</p> <p>信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。</p> <p>当ファンドは、分配金再投資専用とします。収益分配金は、税金を差し引いた後、再投資されます。</p>

## (参考情報) 当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・2016年12月から2021年11月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- ・上記の騰落率は、直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり決算日に対応した数字とは異なります。

## 各資産クラスの指数

日本株式：MSCI ジャパン・インデックス(配当込)  
 先進国株式：MSCI ワールド・インデックス(配当込)  
 新興国株式：MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込)  
 日本国債：ブルームバーグ・グローバル国債：日本インデックス  
 先進国国債：ブルームバーグ・グローバル国債：G7インデックス  
 新興国国債：ブルームバーグ新興市場自国通貨建て国債インデックス

- ・全ての指数は米ドル建てのものをわが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用して円換算しております。

- ・MSCIジャパン・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、日本の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIワールド・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の先進国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の先進国および新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・「Bloomberg®」は、Bloomberg Finance L.P.、および同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited (以下「BISL」)をはじめとする関連会社(以下、総称して「ブルームバーグ」)のサービスマークです。ブルームバーグは、ブルームバーグ指数に対する一切の専有的権利を有しています。ブルームバーグは、このマテリアルを承認もしくは支持するものではなく、また、このマテリアルに含まれるいかなる情報の正確性もしくは完全性についても保証するものではなく、明示黙示を問わず、このマテリアルから得られる結果に関していかなる保証も行わず、また、法律上認められる最大限において、ブルームバーグはこのマテリアルに関して生じるいかなる侵害または損害についても何らの責任も債務も負いません。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

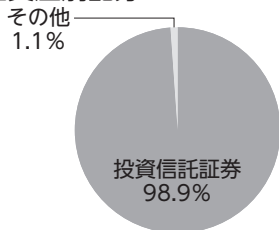
(2021年12月10日現在)

#### ■組入ファンド

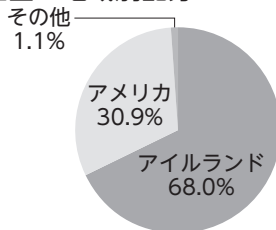
	第15期末(2021年12月10日)
	組入比率
バンガード・500・インデックス・ファンド	30.9%
バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	25.3%
バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	19.2%
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	8.2%
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	5.9%
バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	5.0%
バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	3.1%
バンガード・パシフィック・エクス・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	1.4%
その他(短期金融資産等)	1.1%
組入ファンド数	8銘柄

- ・組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。
- ・詳細は、運用報告書(全体版)に記載しております。
- ・小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。

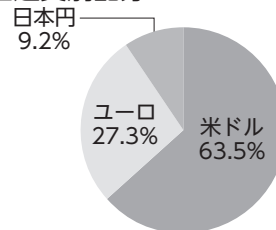
#### ■資産別配分



#### ■国・地域別配分



#### ■通貨別配分



- ・国・地域別配分は、投資しているファンドの発行国を表示しております。
- ・小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。



### ここをCHECK!

#### 投資対象別に分類した組入資産の状況

##### ■資産別配分

投資対象	組入比率	ファンド数
株式を中心に投資するファンド	49.4%	5銘柄
債券を中心に投資するファンド	49.5%	3銘柄
その他(短期金融資産等)	1.1%	-
合計	100.0%	8銘柄

##### ■地域別配分

投資対象	組入比率	ファンド数
米国を中心に投資するファンド	56.2%	2銘柄
欧州を中心に投資するファンド	27.3%	2銘柄
日本を中心に投資するファンド	8.1%	2銘柄
太平洋(日本を除く)を中心に投資するファンド	1.4%	1銘柄
新興国を中心に投資するファンド	5.9%	1銘柄
その他(短期金融資産等)	1.1%	-
合計	100.0%	8銘柄

- ・詳細は、「組入ファンドの概要」をご参照ください。
- ・小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。

## 純資産等

項 目	第15期末
	2021年12月10日
純 資 産 総 額	294,071,735,031円
受 益 権 総 口 数	153,117,557,159口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額	19,206円

・期中における追加設定元本額は24,952,226,137円、同解約元本額は10,111,011,434円です。


**ここをCHECK!**

- ・第15期における金額ベースの追加設定額は45,219,907,846円、同一部解約額は18,217,969,454円です。結果、第15期は差し引き27,001,938,392円の資金流入となりました。
- ・資産等の前期末の状況は以下のとおりです。

項 目	第14期末
	2020年12月10日
純 資 産 総 額	230,238,575,657円
受 益 権 総 口 数	138,276,342,456口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額	16,651円

## 組入ファンドの概要

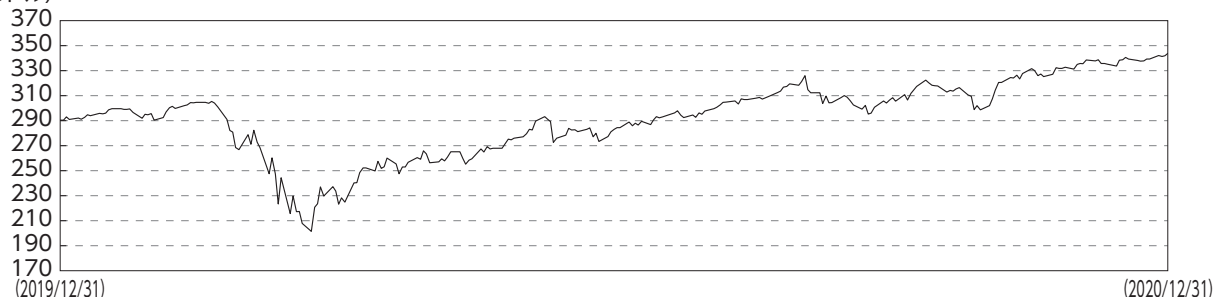
以下は当ファンドが投資対象としているバンガード社のファンドの現況です。詳細な内容につきましては運用報告書(全体版)に記載しております。

なお、以下の各項目の注記につきましては、21頁をご参照ください。

### 1. バンガード・500・インデックス・ファンド

#### ■基準価額の推移

(米ドル)



・グラフは分配金再投資基準価額です。

#### ■組入上位10銘柄

(2020年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Apple Inc.	6.7
2	Microsoft Corp.	5.3
3	Amazon.com Inc.	4.4
4	Alphabet Inc.	3.3
5	Facebook Inc.	2.1
6	Tesla Inc.	1.7
7	Berkshire Hathaway Inc.	1.4
8	Johnson & Johnson	1.3
9	JPMorgan Chase & Co.	1.2
10	Visa Inc.	1.2
組入銘柄数		509銘柄

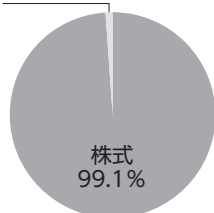
#### ■費用明細

(2020年12月31日現在)

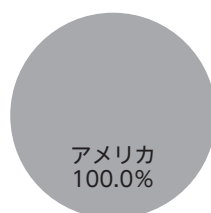
ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.03

#### ■資産別配分

現金等  
0.9%



#### ■国・地域別配分

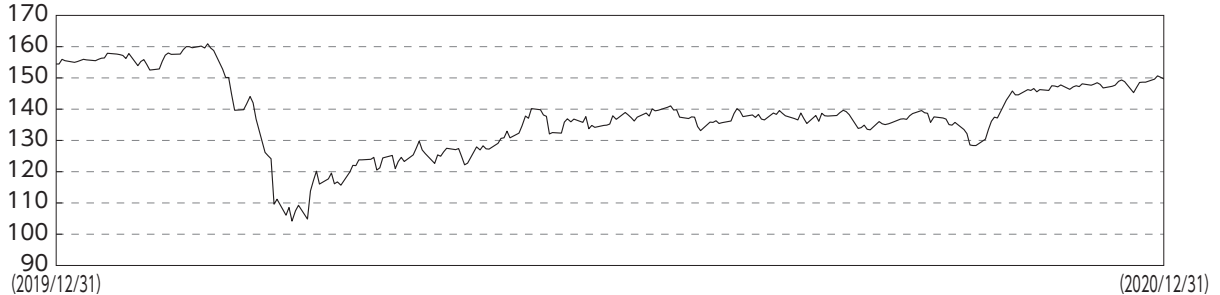




## 2. バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移

(ユーロ)



## ■組入上位10銘柄

(2020年12月31日現在)

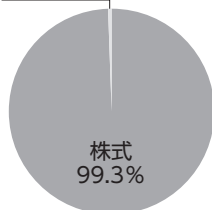
	銘柄名称	投資比率(%)
1	Nestle SA	3.4
2	Roche Holding AG	2.5
3	Novartis AG	2.1
4	ASML Holding NV	2.1
5	LVMH Moet Hennessy Louis Vuitton SE	1.7
6	Unilever	1.6
7	SAP SE	1.4
8	Royal Dutch Shell plc	1.4
9	AstraZeneca plc	1.3
10	Novo Nordisk A/S	1.2
組入銘柄数		450銘柄

## ■費用明細

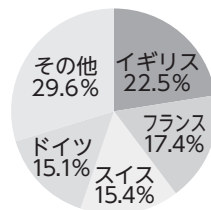
(2020年12月31日現在)

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.08

## ■資産別配分

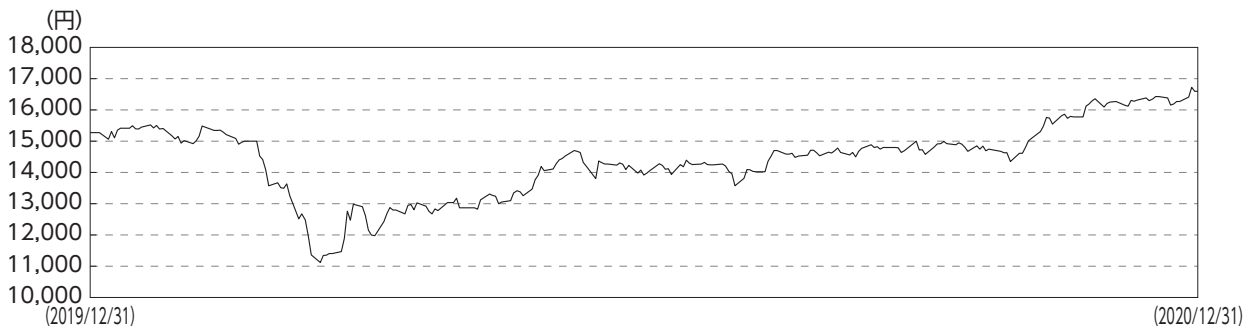
現金等  
0.7%

## ■国・地域別配分



## 3. バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移



## ■組入上位10銘柄

(2020年12月31日現在)

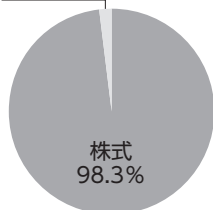
	銘柄名称	投資比率(%)
1	トヨタ自動車	4.0
2	ソニー	3.1
3	ソフトバンクグループ	3.0
4	キーエンス	2.5
5	任天堂	1.8
6	信越化学工業	1.5
7	第一三共	1.4
8	武田薬品工業	1.4
9	リクルートホールディングス	1.4
10	日本電産	1.4
組入銘柄数		301銘柄

## ■費用明細

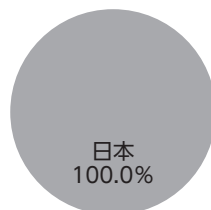
(2020年12月31日現在)

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.12

## ■資産別配分

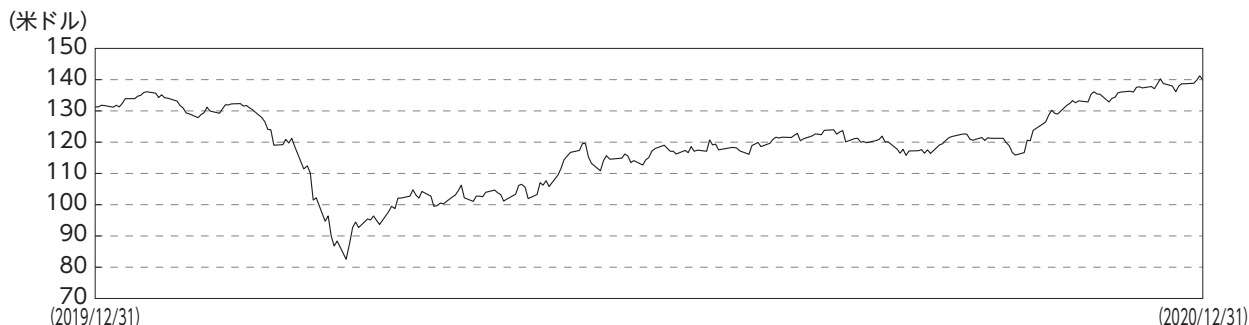
現金等  
1.7%

## ■国・地域別配分



## 4. バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移



## ■組入上位10銘柄

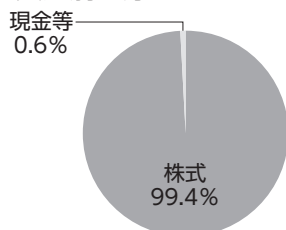
(2020年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	AIA Group Ltd.	8.0
2	Commonwealth Bank of Australia	6.0
3	CSL Ltd.	5.4
4	BHP Group Ltd.	5.2
5	Hong Kong Exchanges & Clearing Ltd.	3.6
6	National Australia Bank Ltd.	3.1
7	Westpac Banking Corp.	2.9
8	Australia & New Zealand Banking Group Ltd.	2.7
9	Wesfarmers Ltd.	2.4
10	Woolworths Group Ltd.	2.1
	組入銘柄数	130銘柄

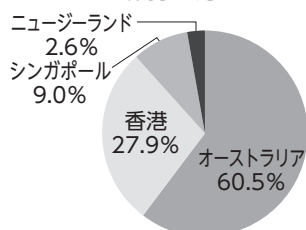
## ■費用明細 (2020年12月31日現在)

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.12

## ■資産別配分



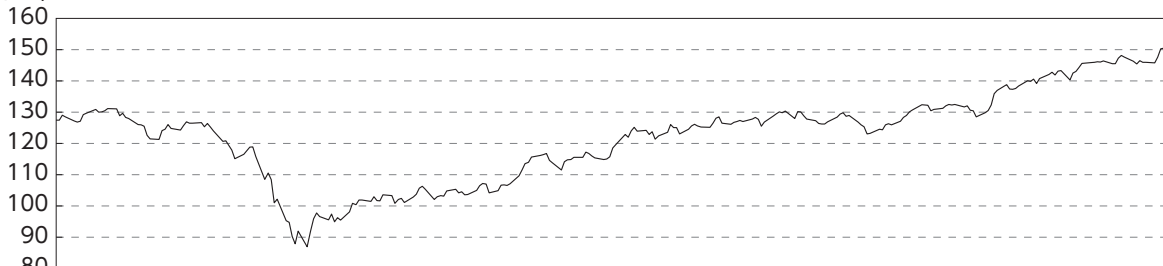
## ■国・地域別配分



## 5. バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移

(米ドル)



(2019/12/31)

(2020/12/31)

## ■組入上位10銘柄

(2020年12月31日現在)

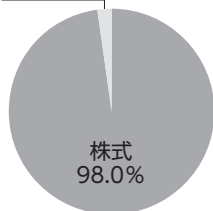
	銘柄名称	投資比率(%)
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd.	5.8
2	Alibaba Group Holding Ltd.	5.5
3	Tencent Holdings Ltd.	5.2
4	Samsung Electronics Co. Ltd.	5.1
5	Meituan	1.7
6	Naspers Ltd.	1.1
7	Ping An Insurance Group Co. of China Ltd.	1.0
8	Reliance Industries Ltd.	1.0
9	JD.com Inc.	0.9
10	China Construction Bank Corp.	0.9
	組入銘柄数	1,423銘柄

## ■費用明細

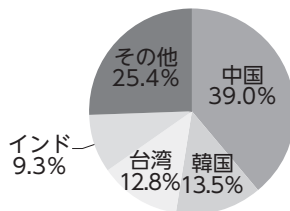
(2020年12月31日現在)

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.16

## ■資産別配分

現金等  
2.0%株式  
98.0%

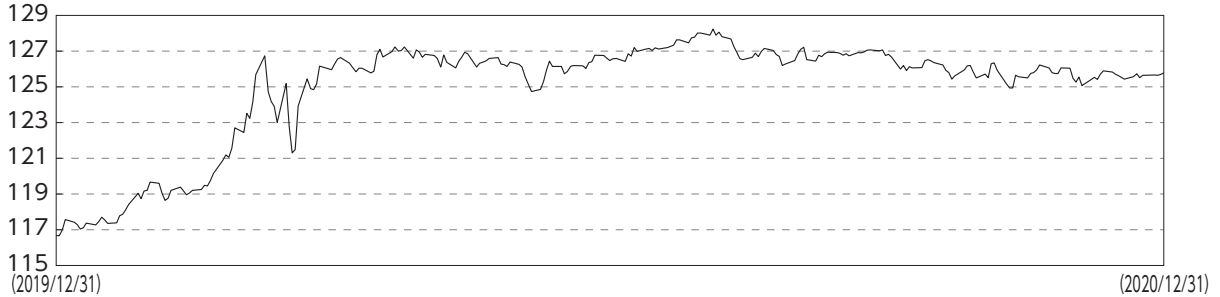
## ■国・地域別配分



## 6. バンガード・U.S.ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移

(米ドル)



## ■組入上位10銘柄

(2020年12月31日現在)

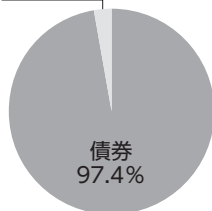
	銘柄名称	投資比率(%)
1	US TREASURY NOTE	1.23
2	US TREASURY NOTE	1.01
3	US TREASURY BOND	1.01
4	US TREASURY NOTE	0.97
5	US TREASURY NOTE	0.94
6	US TREASURY NOTE	0.94
7	US TREASURY NOTE	0.92
8	US TREASURY NOTE	0.90
9	US TREASURY NOTE	0.87
10	US TREASURY NOTE	0.85
組入銘柄数		341銘柄

## ■費用明細

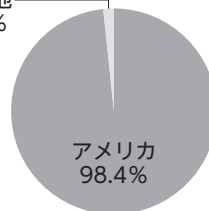
(2020年12月31日現在)

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.06

## ■資産別配分

現金等  
2.6%

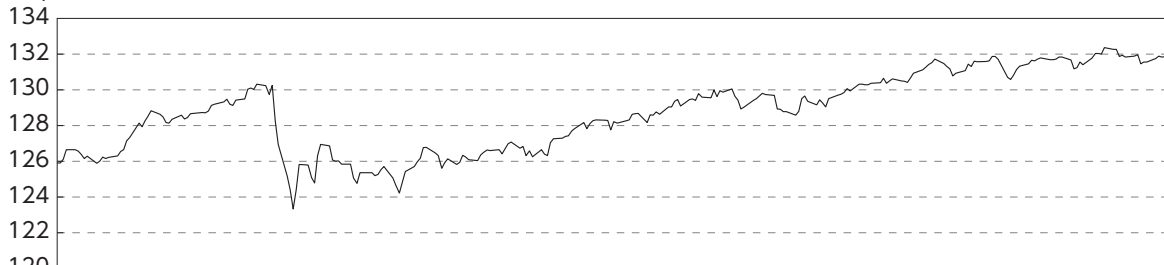
## ■国・地域別配分

その他  
1.6%

## 7. バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移

(ユーロ)



(2019/12/31)

(2020/12/31)

## ■組入上位10銘柄

(2020年12月31日現在)

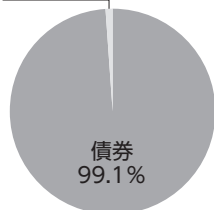
	銘柄名称	投資比率(%)
1	REPUBLIC OF ITALY BOND	1.99
2	REPUBLIC OF ITALY BOND	1.99
3	REPUBLIC OF ITALY BOND	1.35
4	KINGDOM OF SPAIN BOND	0.98
5	FRENCH REPUBLIC BOND	0.96
6	FRENCH REPUBLIC BOND	0.89
7	FEDERAL REPUBLIC OF GERMANY BOND	0.88
8	REPUBLIC OF ITALY BOND	0.85
9	FRENCH REPUBLIC BOND	0.84
10	REPUBLIC OF ITALY BOND	0.81
組入銘柄数		855銘柄

## ■費用明細

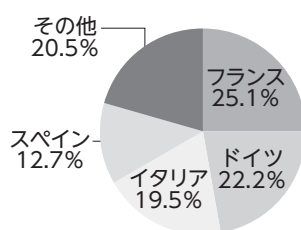
(2020年12月31日現在)

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.06

## ■資産別配分

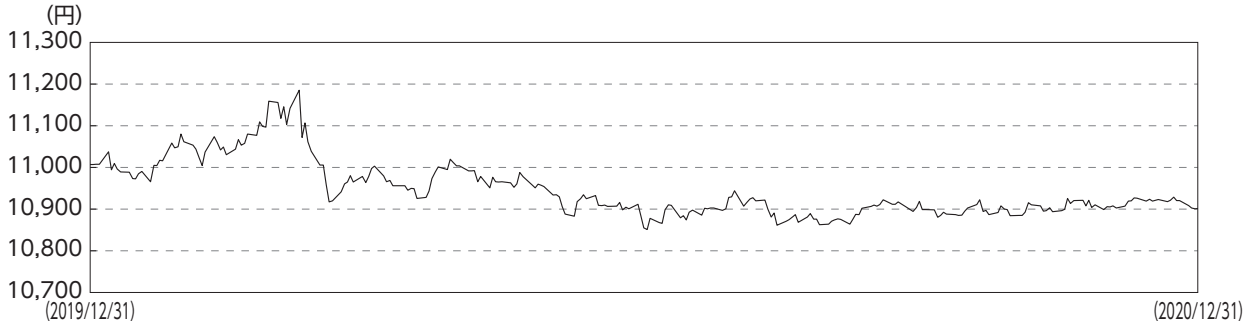
現金等  
0.9%債券  
99.1%

## ■国・地域別配分

その他  
20.5%フランス  
25.1%ドイツ  
22.2%イタリア  
19.5%スペイン  
12.7%

## 8. バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移



## ■組入上位10銘柄

(2020年12月31日現在)

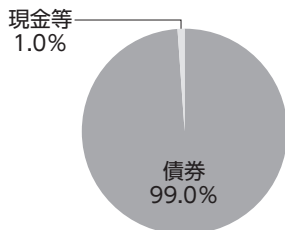
	銘柄名称	投資比率(%)
1	第360回利付国債(10年)	1.57
2	第145回利付国債(5年)	1.20
3	第356回利付国債(10年)	1.15
4	第325回利付国債(10年)	1.12
5	第357回利付国債(10年)	1.04
6	第359回利付国債(10年)	1.03
7	第358回利付国債(10年)	0.93
8	第37回利付国債(30年)	0.91
9	第35回利付国債(30年)	0.89
10	第144回利付国債(5年)	0.89
組入銘柄数		353銘柄

## ■費用明細

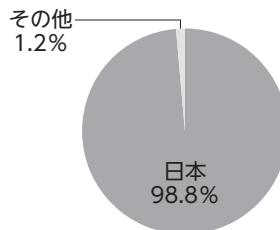
(2020年12月31日現在)

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.06

## ■資産別配分



## ■国・地域別配分



- ・費用明細に記載されている運用管理費率とは、平均純資産総額に対する運用及び管理等にかかる費用の総額の比率を示したものです。
- ・投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の評価金額の比率です。
- ・資産別配分は、ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ・国・地域別配分は、ファンドの投資資産に対する比率です。
- ・通貨別配分については、開示されていないため記載しておりません。

出所：バンガード・500・インデックス・ファンド/The Vanguard Group Inc.(2020年12月30日)

バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド/Vanguard Investment Series plc[Factsheet]  
(2020年12月30日)

バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド/Vanguard Investment Series plc[Factsheet]  
(2020年12月30日)

バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド/Vanguard Investment Series plc[Factsheet] (2020年12月30日)

バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド/Vanguard Investment Series plc [Factsheet] (2020年12月30日)

バンガード・U.S. ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド/Vanguard Investment Series plc[Factsheet]  
(2020年12月30日)

バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド/Vanguard Investment Series plc [Factsheet] (2020年12月30日)

バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド/Vanguard Investment Series plc [Factsheet] (2020年12月30日)

[Vanguard] (日本語での「バンガード」を含む) 商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社および承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. およびVanguard Investments Japan Ltd. より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。従って、The Vanguard Group, Inc. およびVanguard Investments Japan Ltd. は当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。



## TOPICS：《当社の直接販売の状況 第15期（2020年12月11日～2021年12月10日）》

## ○ 当期間のふりかえり

2021年 4月	純資産総額（直販と販売会社の合計）4,000億円を突破
4月	業界で初となる「重要情報シート（金融事業者編）（個別商品編）」を公表
9月	ホームページをリニューアル

## ○ 2021年12月10日現在 お客さま口座数 154,001件(前期末比+3.6%)

当期間でお客さまは5,295名増え、前期間の増加数より440件増えました。

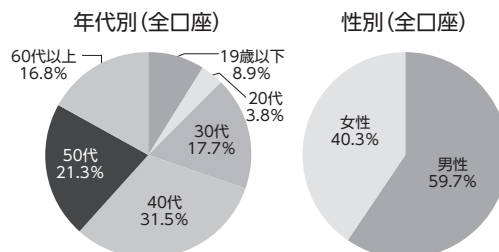
また「つみたてNISA」は30,367名(当期間で4,229件増)、「ジュニアNISA」は6,141名(当期間で1,069件増)のお客さまに制度をご活用いただいています。

(前期末のお客さま口座数148,706件、前期間の口座増加数+4,855件)

## ○ お客さまの特徴

前期との比較では「女性」、「19歳以下」、「50代」、「60代以上」の構成比率が増加しています。

口座開設から年数を経て年代の高いお客さまの構成比率が少しずつ上昇していますが、20代～40代の新しいお客さまの口座開設もあり、年代構成に大きな変化はありません。



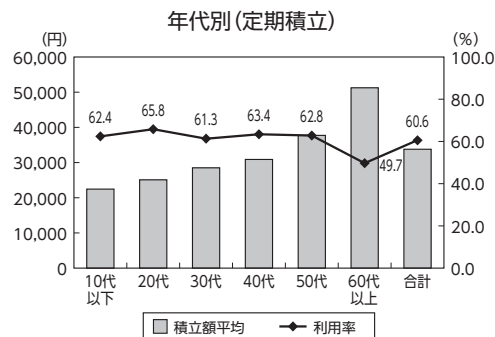
## ○ ファンドの設定・解約の状況

当期間も直接販売の純資金流入は毎月継続しました。また当期間の純販売額は、前期間と比べ、追加設定の金額が増加、解約金額が減少したため、純資金流入額は前期間の金額189.4億円から大幅に増加し、248.0億円となりました。

## ○ 定期積立プラン

当サービスの全体の利用率は60.6%、60代以上を除き概ね各年代6割強のお客さまがご利用されています。積立額の平均は33,786円と前期間から1,871円高くなりました。

・定期積立プランは、当社が運用、販売するファンド2種類のいずれか、もしくは両ファンド定期積立サービスをご利用いただいている方を対象としてデータを作成しています。また積立額平均、利用率は2021年11月時点の数値であり、積立額の平均は増額月の増額分の金額を含まない平均値です。



お客さまに寄り添う運用会社を目指し、直接販売のサービスの向上に取り組んでおりますが、お客さまの長期投資に役立つ情報を分かりやすくお伝えるため、ホームページのリニューアルや業界に先駆けて重要情報シートの活用を開始しました。また、2022年2月に、お客さまの資産形成の実現をお手伝いするため「セゾン顧客本位の相談室」を開設することとなりました。引き続き今あるサービスの向上、新しいサービスの開始の両面に取り組んでまいりますので、ぜひご期待ください。

これからも投資家の皆さまと共に長期で成長を目指す会社として、誠実なサービスのご提供に努めてまいります。

※お客さまの特徴や口座、金額は、保有しているファンドの種類や有無に関係なく、当社に口座を開設していただいている直接販売のお客さまを集計したものととなります。

※金額は、明記されたものを除き当社が2021年12月10日現在、運用、販売するファンド2種類を合計した数値となっています。